

【学校評価結果表】

令和7年度 成果と課題及び改善に向けた方策について

【児童の評価の高い項目と低い項目】	
◎学校のおそびどうぐや、きょうしつは、つかいやすい。 7月(93%) 12月(92%)	・毎月の安全点検はもちろん、教職員が気付いたり、保護者や地域の方から指摘いただいたりした危険箇所の改善には最優先で取り組んでいます。また、タブレットの有効活用のために外部講師を招いた研修会を行うなど、児童の学習環境の向上にも取り組んでいます。今後もハード・ソフト両面から子どもたちの学びを支えていきます。
△わたしは、教室や学校をきれいにするため、そうじをがんばっている。 7月(91%) 12月(75%)	・そうじ終了後にも、ごみが落ちていたり、掃除用具がきちんと片付けられていなかったりと、日々指導を続けているところですが、本校の大きな課題です。そんな中でも、これまで児童の自己評価はいつも高かったのですが、今回、評価が大きく下がったことは、意識の高まりと前向きに捉え、今後も指導を続けていきます。
【保護者の評価の高い項目と低い項目】	
◎学校は、PTA活動や地域行事に協力的である。 7月(93%) 12月(89%)	・「教員の働き方改革」や「教員不足」が深刻な社会問題となっている中、休日の諸活動への参加は難しい面もありますが、児童の健やかな成長のため、今後も学校・家庭・地域が手を携えていけるよう取り組んでいきます。
△うちの子は、健康に気をつけて生活している。 7月(79%) 12月(79%)	・「早寝・早起き・朝ごはん」とは、生活リズムの安定が児童の健康や学力向上につながっていることを表す言葉ですが、朝から眠そうな顔で登校している児童もかなりいます。話を聞いてみると夜11時や12時、中には夜中の2時までゲームをしていたと話す児童もいます。児童の健やかな成長のため、家庭と連携し、ノーメディアチャレンジなどの取組を今後も推進していきます。
【教職員の評価の高い項目と低い項目】	
◎学校は、安全対策に努めている。(けが・事故・不審者・防災・衛生管理等) 7月(96%) 12月(90%)	・児童の下校先アンケートを行い、緊急時の保護者引き渡しに備えてきました。また、講師を招聘し、不審者対応の職員研修を行いました。今後も、定期的安全点検、修理・修繕等、校内でのけがや事故等を未然に防ぐための取組を徹底していきます。
△児童は、学校へ行くのを楽しみにしている。 7月(87%) 12月(77%)	・児童の評価は、9割を超えているのですが、スムーズに教室に入ることができない児童や遅れて登校する児童もいます。スクールカウンセラーや心のケア相談員とも連携しながら児童の不安や悩みを取り除いたり、学校の中に落ち着くことができる場所を確保したりしながら、すべての児童が不安なく登校できるよう取り組んでいるところです。
【保護者・職員共に評価の高かった具体的項目】	
◎学校は、PTA活動や地域行事に協力的である。 ◎学校は、学級通信、学校だより等で学校の情報や出来事を公開している。	・昨年同様高い評価をいただいた項目です。高来西小校区で、これまでの保護者・学校・地域の連携や協力が積み重ねられた結果だと感謝しています。今後も「子どもたちの健やかな成長」のために、学校・家庭・地域の結びつきを更に高めていけるよう「地域とともにある学校づくり」を推進していきます。
【保護者・職員共に評価の低かった具体的項目】	
△児童は、きまりやマナーを身に付けている。	・あいさつや返事、正しい言葉遣い、マナー等は、豊かな人間関係を築いていくための基盤となる「生きる力」です。多くの個性が集うのが学校ですから、様々なトラブルも起きます。その原因を一緒に考えたり、友達と仲良く過ごしていくためにはどうすればよいかを学ばせたりしながら、きまりやマナーの大切さ気付かせていきます。
その他(保護者の声から)	
・保護者がもっと学校に来たくなる仕組みを作りたいと思います。学校に来れば楽しい→学校で横のつながりができて安心感が生まれる→子どもたちに安心感が伝わり笑顔が増える そのために、親父の会の定着を図り、気持ちの面での学校の入り口を広げたいと思います。(PTA会長)	・地域性からか、都市部とは違い、教職員在校時、門や児童玄関が解放されており、防犯面にやや不安を感じている。 ・学校は、教育を提供するサービス業ではないので、しっかり保護者に意見して建設的な議論になることを望みます。

【学校評価委員会より】

○人権・平和に関する児童の評価が高い。「自分たちはやれている」と児童自身が自覚できることが大切であるので、道徳の授業や平和学習等で、児童にそう思わせるような取組は、今後も続けてほしい。

○家庭学習についての児童、保護者、教職員の評価に、かなり違いがある。保護者アンケート「うちの子は家庭学習をがんばっている」については、学童クラブや児童館で宿題を終わらせている児童も多い。ここは、保護者に見えにくい部分であり、答えにくいのではないかと。文面を検討してほしい。また、保護者が学校のことや宿題のことを各家庭で話題にし、我が子の学校生活を把握できるような動きかけがあるとさらに回答の質が高まるのではないかと。

○自治会の会合に成人式を終えた新成人があいさつに来てくれた。学校からの話では、保護者からの学校への理不尽な要求や苦情は皆無とのことである。家庭や地域での保護者の孤立が学校への攻撃を加速させる原因となるが、「高来西小校区では、児童や保護者が地域に支えられていることがよい影響を与えているのでは」という学校側の考察は的を射ていると思うし、今後も続けていきたい。